

信 愛 望


山形学院だより

第1号(42号)

(PTA総会)

2019. 4. 27

文責・佐藤圭

 山形学院高等学校

希望の春 新年度スタート!



[新入生決意表明：入学式]

4月6日(土)に2019年度始業式が行われました。午後には入学式が行われ、282名の新入生が入学式に臨みました。ご入学おめでとうございます。入学式では新入生を代表して菅井愛未さん(朝日中出身)が高校生活の抱負と決意を堂々と述べました。新しい環境で新しい仲間と新しい生活が始まりました。この山形学院高校で自分の夢の実現のために、充実した高校生活をスタートして欲しいと思います。2019年度が充実した高校生活となるよう教職員一丸となって支えていきます。何かありましたら遠慮なくご相談ください。

学校づくりビジョン (2015年度～)

『鍛える・伸ばす・育む』 ^{こころざし} 夢を実現できる学校

2015年度より「学校づくりビジョン」として、『鍛える・伸ばす・育む』夢を実現できる学校を掲げ、全教職員で取り組みます。①学力をつける授業 ②持ち味(個性)を引き出す指導 ③進路実現への支援を教職員の共通課題とし、生徒一人ひとりの学力、めざす進路に沿った細やかな指導を進め、毎日の授業を大切にしていきます。そして、生徒に寄り添い、それぞれの希望する進路実現を支援していきたいと考えています。また、「生徒とともに生き、学び、成長する」～生徒一人ひとりを大切に～という行動目標を大切に、信頼される学校をめざします。

めざす生徒像

1. 挨拶がしっかりできる生徒
2. 感謝と思いやりの心を持って、生活できる生徒
3. 正しい判断力を持って、自主的に行動できる生徒
4. 進路実現を目指し、意欲的に取り組むことができる生徒

〈学院のひとコマ〉

2009年に広島の安田女子高校より、縁があって「被ばく桜」の約1寸の苗木を頂きました。それから10年、なかなか花が咲かなかったのですが、昨年2月に日当たりの良い場所に移植したところ、今年は一気に見事満開の花が咲きました。【4月15日撮影】



[花を咲かせた“被ばく桜”]

祝 全国私立高等学校男子バレーボール大会出場報告！

本校 0-2 桐蔭学園（神奈川） / 本校 0-2 啓新（福井）
本校 0-2 柳川（福岡） / 本校 0-2 昇陽（大阪）

2019年3月21日(水)～24日(土)に東京都町田市でバレーボールの全国私学選抜大会が行われました。本校男子バレーボール部は5年ぶりの出場でした。競ったセットもありましたが善戦及ばずストレート負けとなりました。全国レベルでの試合経験を今後の戦いに活かしたいと決意を新たにしています。体育部はまもなく5月には地区高校総体が始まります。体育部の活躍を全校生挙げて応援します。



〔顧問よりアドバイスを受ける〕

「新入生研修会」・「学習セミナー(特進・看護)」を行いました！



〔霞城公園：花見と団子〕

1学年で新入生研修会が行われました。チャペル・体育館・霞城公園に出向いて16日(火)に実施しました。ちょうど霞城公園の桜も満開で、曇り空の下で少し肌寒さを感じる天候でしたが、活動しやすく充実した一日となりました。研修の目的は「①クラス・学年の仲間と多くのつながり作る。②スマートフォンの正しい使い方を学習し、仲間との適切なつながり方を理解する。③TPOにあった行動、姿勢、発言を学習する。」です。内容は、「校歌/応援歌」練習、SNS講話、霞城公園散策(集合写真・清掃ボランティア)、レクレーションを実施しました。研修を通してお互いを理解し認め合い「つながる」という研修目的を達成できたようです。また、今年度からスタート

した特進コース/看護・医療技術コースは11日(木)～12日(金)に本校セミナーハウスで、学習の仕方・取り組み方について1泊2日の研修を行い、授業をスタートさせました。

新任の先生紹介

岩田 理沙 先生
養護教諭(特別支援)



はじめまして。特別支援・養護教諭の岩田理沙です。私は山形学院高校の卒業生でもあるので、教員としてこの学校に携わることができてとても嬉しいです。みなさんの学校生活が楽しく、健康に過ごせるようサポートしていきますので、よろしくお願いします！

伊藤 寛和 先生
数学(1年9組担任)



今年度より、1年9組の担任を務めます、伊藤寛和と申します。昨年度までは、非常勤講師として、たくさん勉強させて頂きました。その経験を活かしつつ、学院生たちのために、精一杯頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

遠藤 史 先生
国語(1年3組担任)



国語科の授業を担当します。高知から山形に来て16年目になりますが、まだ時折こちらの言葉が理解できなかったり、土佐弁が口から出てきたりします。高校生の若さに圧倒されるばかりにならないよう、毎日新たな気持ちで学院のみなさんと向き合っていきたいです。